

原ゆうじ市政報告 VOL103

松戸市に関すること、困りごとのご相談はお気軽に！！

TEL 070-5540-9565 メールアドレス yuji.hara88@gmail.com

ブログも好評配信中！ 公式 HP:hara88.mobi 発行元:松戸市上本郷905



(原ゆうじのプロフィール)
1965年松戸生まれ 上本郷小、松戸六中、立教高校、立教大学理学部化学科卒業。長瀬産業(商社)勤務を経て家業のベーカリー店を継ぐH22年市議初当選、現在、市議会議員4期目

松戸市議会議員、原ゆうじ市政レポート「税金の無駄遣いは許さない！8年後期

祝！現地建て替えへ第一関門突破

賛成30:反対11 市役所建て替え基本計画策定予算可決！

6月議会、市から市役所現地建て替えの基本計画策定予算が上程され、**賛成30:反対11**(公明党10人+嶋原舞議員)の賛成多数で可決となり、現地建て替えへ向け第一関門の突破となりました。

基本計画の中身(委託内容)は？

既存の市役所建物4つ(新館、本館、議会棟、別館)を解体し、延べ床面積37,000㎡の新庁舎(現在の市役所は約3万㎡)に全面建て替えする案の検討。令和8年1月時点の推定で、総事業費は657億円(移転建て替えは、推定712億円。55億円の差)予算は約1.7億円。委託期間は1年4か月。

費用縮減の観点から現有施設、民間施設の活用、新館長寿命化(耐震改修)についても検証。

(↓延床37,000㎡での全面建て替え図)



現地建て替えは未決定！今後の関門は何？

今回、市役所現地建て替えへの第一関門である基本計画予算が無事に可決となりましたが、今後、基本設計予算、実施設計予算、そして最後に建物の建築予算が議会へ提案されると思いますが、この4つ目の関門、**建築予算可決まで「決定した！」**とは言いきれません。今後の予想スケジュールは？

基本計画 ➡ **基本設計** (R9年) ➡ **実施設計** (R11年) ➡ **建物建築予算** (R12年頃?) ➡ **建設工事スタート** (R12年後半) ➡ **新庁舎完成** (R16年) ➡ **R17年4月? 祝新市役所開庁**

目指せ！150億円削減！議会棟&別館の活用を

原ゆうじの考え！移転→現地で55億円削減。既存建物活用で更に150億円の削減を！

移転から現地建て替えになり、約55億円削減が見込まれるものの、総額657億円は今の松戸市にとっては、かなり**厳しい金額**であり、実行すれば、他の市民サービスへの影響が心配になります。

ではどうしたら？現在の市役所は建物が4つありますが、そのうち議会棟、別館は、耐震性能に問題ありません。そこで全面建て替えではなく、**この二つの建物を継続使用するべきです！**

そうすれば、新築建設面積は37,000㎡→25,500㎡となり、建設費も計算上156億円削減できます。

(37,000㎡建設費503億円→25,500㎡347億円 *市の予想建設費単価:136万円/㎡で試算)
議会棟・別館もいずれ、建て替えが必要ですが、その時の人口やデジタル化による来庁者減に合わせた規模の建設も可能となります。**使えるものは使うべき！やっぱり税金の無駄遣いは許せません！**

仮庁舎への移転は年末年始に！

市役所仮庁舎への移転補正予算が審議され、賛成多数で可決となりました。

(補正予算の主な内容。仮庁舎改修工事：約 4.3 億円 什器購入：2.1 億円、各種負担金：1.2 億円)
(↓ 仮庁舎位置図 ①～④を新規に賃借)

尚、机や椅子などは、現在使用中のものを優先使用し、新規調達は必要最小限に、かつ中古品にするなど費用削減に努めるとしています。

仮庁舎への引っ越し時期は？

今年の年末年始に予定されており、年明けから仮庁舎での業務が順次開始される予定となっています。

仮庁舎の期間は？

令和 16 年度末までの約 8 年間予定。

仮庁舎の家賃はいくら？ 年約 5 億円

仮庁舎の場所は？

右図の①～④の建物。主な仮庁舎は、②キテミテマツドの 5 階、10 階フロア



新松戸駅快速停車事業、休止へ！

(これまでの経緯) 松戸市は平成 29 年度から新松戸駅への常磐線快速列車停車に向けた検討をはじめ、これまで約 1 億 2 千万円の調査費をかけてきましたが、その調査結果は非開示となっていました。

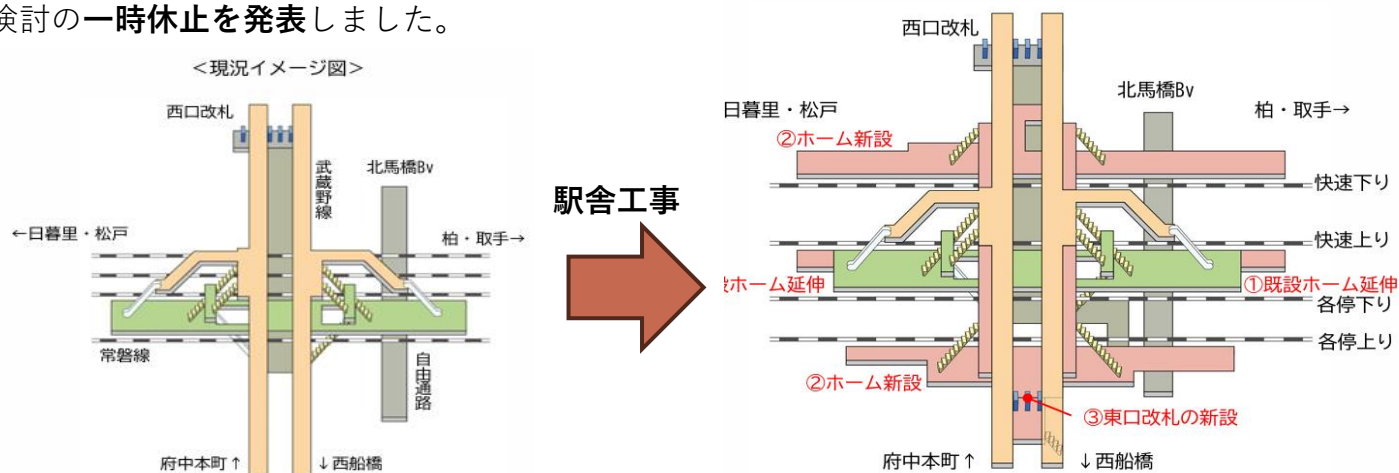
工事費 232 億円！工事期間 10 年！ しかし、検討開始から約 10 年、何度聞いても明かさなかった事業費を、令和 5 年までの調査結果に基づき、昨年、令和 7 年 3 月に市はようやく開示しました。

工事の内容は、2 本のホーム新設と既存ホームの延伸ですが、そのために必要な用地の面積、取得費、場所は相変わらず示されなかったため、**総事業費は相変わらず不明のまま**でした。

調査結果開示も不十分＝総事業は不明＝市の負担額も不明→事業の可否判断が出来ない！として

原ゆうじは一貫して調査予算に反対！してきました。(市議会は賛成多数)

事業費の高騰→総事業費は 300 億円越え！今回、費用負担に課題があるとして、市は正式に検討の一時休止を発表しました。



原ゆうじの考え！市は令和 3 年度には工事費だけで 232 億円と把握、本気であればこの時点で公表し、その財源について議会に示すべきでした。**本当に市は本気だったのでしょうか？**

まちづくりの視点から、快速停車は魅力的とは思いますが、ごみ焼却炉建設で約 1 千億円、市役所建て替えて 600 億円以上かかると見込まれる今の松戸市で、さらに 300 億円の快速停車は正直、厳しいと考えます。まずはこれまでの全ての調査結果の公表と早期の結論を市に迫ってまいります！